

その動亂は内生活の中心を失脚せる群衆の悶燥に過ぎなかつた、遂に悪魔の争闘であつた。今や久しく彼等の憧憬せる絶對の曙光は認められたる念々出現するものは何だ。昨日に變らぬ日輪である。けれども彼等にとりては昨日の日輪ではない。彼等は地獄で佛の心持を以て潑刺たる日輪を認める。そしてそれは永遠に偉大なる尊嚴を保有し、而も幾千年來のものたることを覺悟しなければならぬ。

現代の誤謬は常識に狂せるにある。文化に眩暈せるにある。若し夫れお釋迦様は常識を無視し、文化を怖れて正に化石せんとしてゐた仙人共を、人間社會に引きすり出したもの

だといひ得べくんば、現代の誤謬を校正する革命的行爲は、明に常識に溺れ天才を無視し、直觀即ち神通力を失つた血迷へる人間の形をした獸共を、人間社會に引き上げてやる事に外ならぬ。

彼等の過去には自然に歸れ、動物に歸れと絶叫された時代があつた。今や理想に歸れ、大自然に歸れと絶叫されつゝある。この叫聲に驚いて、動もすれば空想の泥水の中へ落ち込む奴等がある。これ等に依つてあらゆる醜態は演ぜられる。我國民に對しては太古に歸れと絶叫されつゝある、私共は太古に歸らねばならぬ。そして私共の祖先が幾千年前に考へた